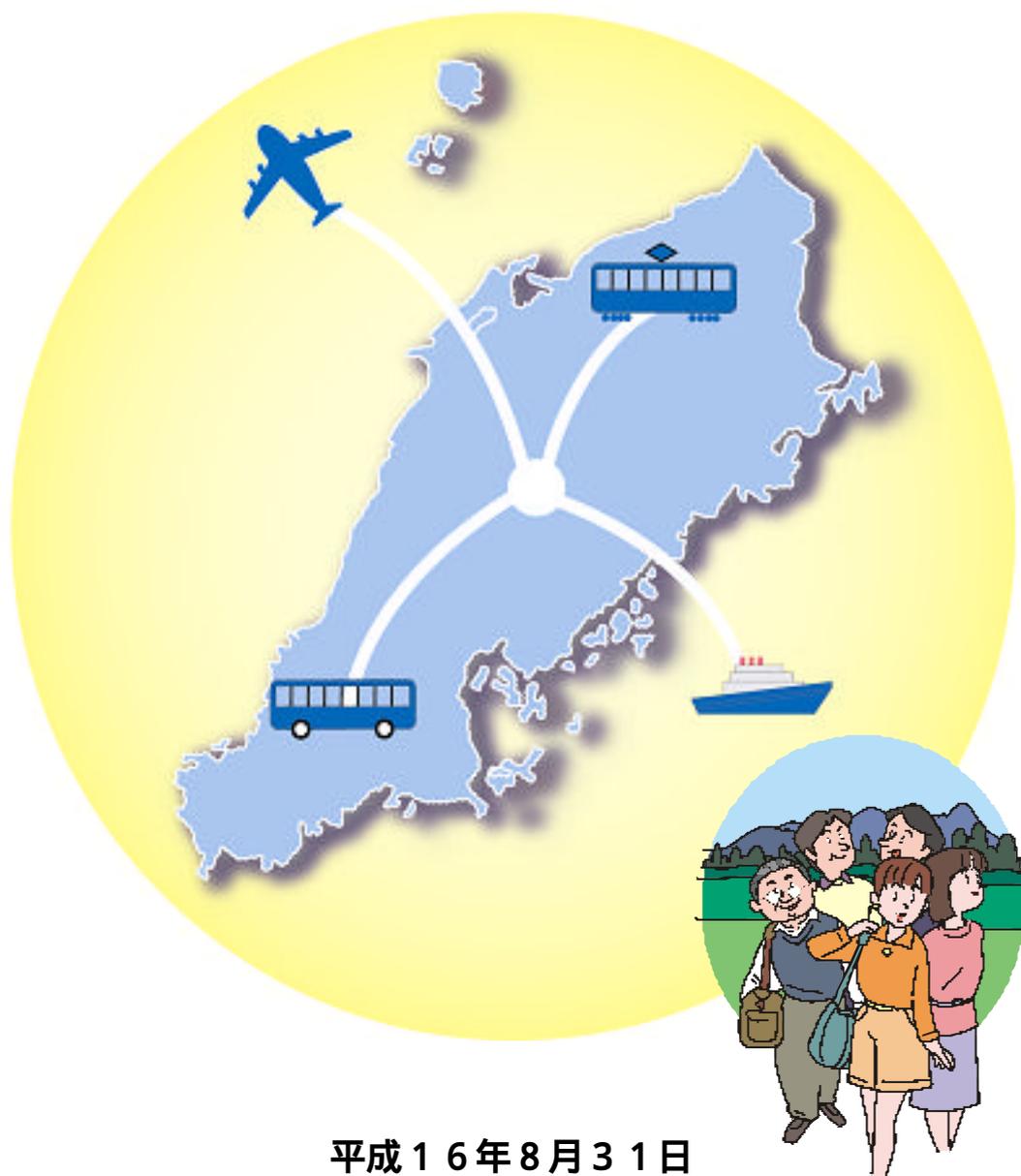


21世紀初頭における中国地方の 公共交通サービスと観光振興のあり方について

(答 申)



平成16年8月31日
中国地方交通審議会

**21世紀初頭における中国地方の
公共交通サービスと観光振興のあり方について**

(答 申)

**平成16年8月31日
中国地方交通審議会**

(事 例 集)

事例 -3-1-1

JR横川駅への路面電車の乗り入れに伴う都心部への輸送体系の見直しについて

【場 所】 広島県広島市西区横川

【主 体】 中国運輸局

【目 的】 旅客流動の現状把握、予測により輸送体系の見直し

【内 容】

平成15年4月にJR横川駅前広場の整備により路面電車が駅前に乗り入れたが、これにより、郊外からJRを利用し西広島駅・広島駅でバス・路面電車に乗り継いで、広島都心中心部にアクセスする者の一部が横川駅において都心中心部への乗り継ぎをするなど、郊外から都心中心部への旅客流動に変化が生じている。

このため、平成14年度に、横川駅を第3の交通結節点となるよう、郊外と都心中心部を結ぶバス・路面電車の路線等の見直しを視野に入れた、公共交通機関による輸送体系のあり方に係る検討を行っている。



事例 -3-1-2 広島港新旅客船ターミナルへの路面電車の直接乗り入れ

【場 所】 広島港

【主 体】 地方公共団体

【目 的】 船から路面電車・バスへ乗り継ぎをスムーズにする

【内 容】

瀬戸内海の海上交通の拠点である広島港の新旅客ターミナルが平成15年3月29日オープン。

新ターミナルは他の交通機関利用者の歩行移動の連続性及び安全性の強化、国際規格の絵文字による案内表示、車椅子の方の利用を考慮して壁や柱には手すりを2段の高さに配置するなど、誰にでもわかりやすく使いやすいユニバーサルデザインを採用。

併せて路面電車・バスのターミナル乗り入れにより、シームレス化が図られ利便性が向上した。

広島港宇品旅客ターミナル 近辺地図



(瀬戸内海汽船ホームページから)

事例 -3-1-3 デュアル・モード・ビーグル(DMV)

【主 体】 北海道旅客鉄道(株)

【目 的】 ローカル路線の維持存続

【内 容】

線路と道路の両方を走行できる新タイプの車両。試験車両はマイクロバス(定員25人)をベースとし、道路走行時はゴムタイヤで、線路を走行する場合は油圧により車輪をおろし走行するシステム。

今後は40人乗り車両(時速70km)を開発のうえ、GPSを融合させたシステムを目指す。

実用化すれば、本格的な鉄道車両よりもはるかに安価となり、ローカル駅から病院等の近在する公共施設へ直行するなどの輸送が考えられる。



事例 -3-1-4 フェリーへの乗合バス乗入れによる海陸一貫輸送

【場 所】 広島県三原市～愛媛県今治市間バス路線（大三島～忠海間航路）

【主 体】 本四バス開発(株)、しまなみバス開発(株)、大三島フェリー(株)

【目 的】 本州四国連絡橋開通に伴う輸送の確保

【内 容】

平成11年5月2日より、「しまなみ海道」の開通に併せ、本四バス開発(株)としまなみバス開発(株)が、三原～今治線〔大三島（盛港）～忠海港間はフェリー〕のバス運行を開始した。

しかし、当初見込んでいたほどの利用がなく、海上交通の復活（今治～三原が2航路、井口～三原1航路）による環境変化もあり、8月21日から減便やダイヤ改正を行ったものの、収支の改善が図られなかったため、11月1日をもって三原～今治線は廃止された。

運行便数 本四バス開発(株) 2便/日
しまなみバス開発(株) 6便/日（当初運行便数）

運 賃 通常の賃率（西瀬戸自動車道割り増し通行量含む）によるバス運賃にフェリー航送料とフェリー運賃を加算して設定。
西瀬戸自動車道及びフェリー航送料については、乗車密度14人に設定して計算。（フェリー航送料とフェリー運賃については、大三島フェリー(株)がバス乗入れに際し、割引料金を設定）

三原駅～今治棧橋間 2,000円

事例 -3-1-5 JR岡山駅西口広場・東西連絡通路整備計画

【場 所】 岡山市 JR岡山駅西口広場

【主 体】 岡山市

【目 的】 交通結節点の整備・乗り継ぎ利便の向上

【内 容】

新しい西口広場（延べ約1万2千平方メートル）は、駅構内の津山、吉備両線が使用しているホームと線路を撤去して敷地を拡張。

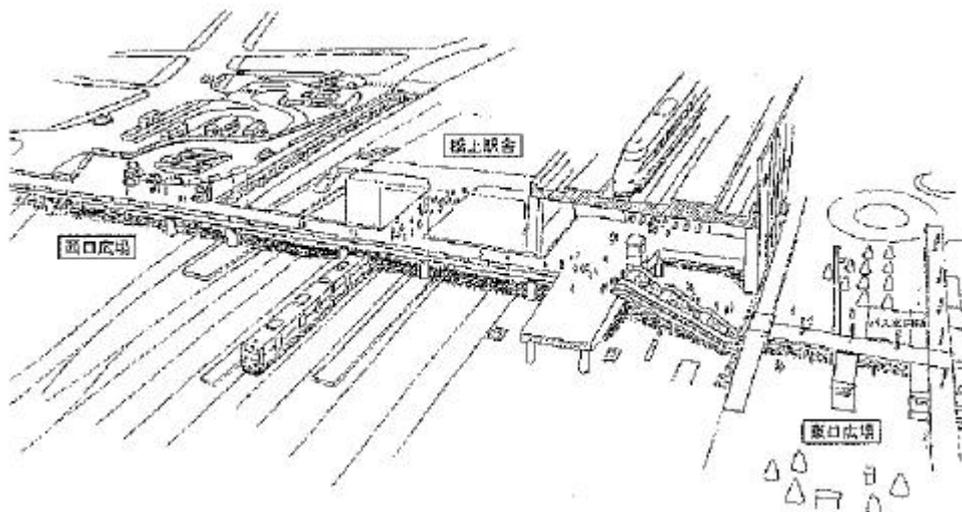
バスとタクシーの乗降場を二層とし、一階をバス、二階をタクシー用とする。乗降場はバス9ヶ所（現在2ヶ所）、タクシー3ヶ所（現在1ヶ所）に増やし、タクシープール20台分（現在16台分）を確保。

一般乗降場も7ヶ所（現在2ヶ所）設ける。

東西連絡自由通路は西口広場から在来線の上を通り東口駅舎二階を経て東口広場につながる延長120メートル。西口広場二階デッキでタクシー乗降場とも直結。エレベーター、エスカレーターも設け、駅からバスやタクシーの乗り換えがスムーズにできるようにする。

西口広場と東西連絡自由通路の整備は岡山市、駅の橋上化はJR西日本が事業主体。

【岡山駅西口広場・東西連絡通路整備イメージ】



（岡山市HPより）

事例 -3-1-6 スルッとKANSAI 3dayチケット

【場 所】 関西圏

【主 体】 (株) スルッとカンサイ (スルッとKANSAI協議会)

【目 的】 ニーズに合わせた企画運賃の設定による利用促進

【内 容】

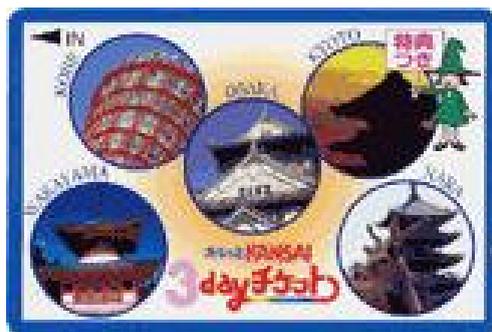
スルッとKANSAI「3dayチケット」は、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、姫路、大津の関西エリアで電車・バスが連続3日間乗り放題で利用できる。

さらにチケットの提示により、エリア内の各種観光・商業施設の割引特典もついている。

発売金額は5,000円(小人2,500円)で非常に割安感がある。

また、利用者アンケートの結果によると、「3dayチケット」の販売額のうち75%が新規需要という結果がでている。

他に1dayチケット、2dayチケット等用途に合わせた複数のチケットがある。



事例 -3-1-7 バスと電車に両方使える定期券

【場 所】 広島市周辺（広島電鉄 鉄軌道・バス路線）

【主 体】 広島電鉄(株)

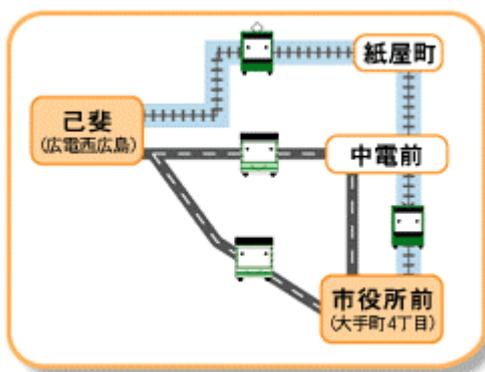
【目 的】 利便性向上

【内 容】

平成14年4月10日から市内電車や宮島線（鉄道）と並行するバス定期額に運賃をプラスすることにより両方乗れる「どっちもパス」や、市内電車・市内バスが全線フリーとなる「エリアフリーパス」、65歳以上の高齢者向けの市内電車全線、市内バス全線が利用できる「シルバー65」などの定期券を発行。

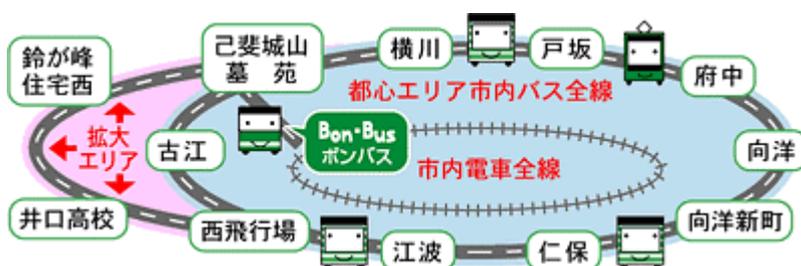
（平成16年3月31日まで）

【どっちもパス（例）】



バス定期額 + 500円 / 月
など

【エリアフリーパス（例）】



通勤1ヶ月
18,000円
通学1ヶ月
16,000円

（広島電鉄HPより）

事例 -3-1-8 広島市中心部バスのりば案内

【場 所】 広島市

【主 体】 社団法人 広島県バス協会

【目 的】 同一名のバス停などの分かりにくいバス停の改善

【内 容】

広島市中心部（八丁堀、立町、紙屋町、本通り）のバス停については、同一名称のバス停が分散しており、地元利用者でさえ分かりにくい状態であった。

（社）広島県バス協会は、利用者利便向上の観点から、市内中心部全停留所に、現在位置図と一体となった行き先等を記載した案内板を標示するとともに、付近道路や地下街シャレオ等に案内図の掲示を進めている。



方面	行 先	のりば番号
東部	広島駅	1 2 3 4 6 11
	② 湯品・府中町 (永田・山田・ニュータウン)	2 6
	④ 仁保・向洋新町	
	②① 向洋大原・洋光台	4
	海田・熊野・阿戸・中野東・西条 竹原・三原・高美が丘・豊栄・兵・備前	1
西部	②⑤ 庚午・井口・商工センター	12
	広電己斐団地・大迫団地	6
南部	③ 西飛行場・泉自動車学校	12
	⑥ 舟入・江波	16
	⑫ 仁保沖町・旭町	8
	②① 広島港・元宇品	12
	②③ 大学病院	6 10
	②④ 吉島病院・吉島営業所	12
	②⑥ 旭町	8
	国際フェリー 一ボート	12

事例 -3-2-1 鉄道駅等へのエスカレーター、エレベーター設置等

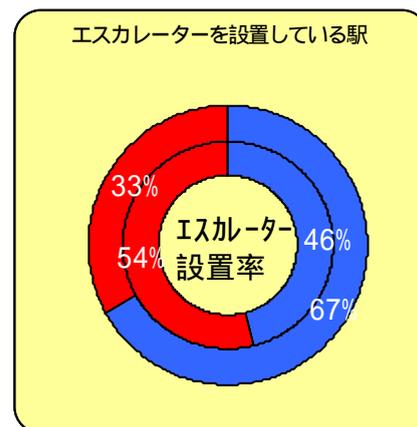
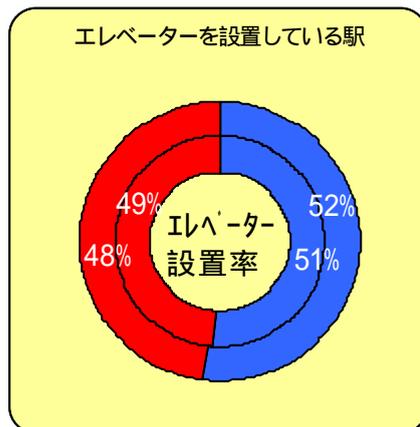
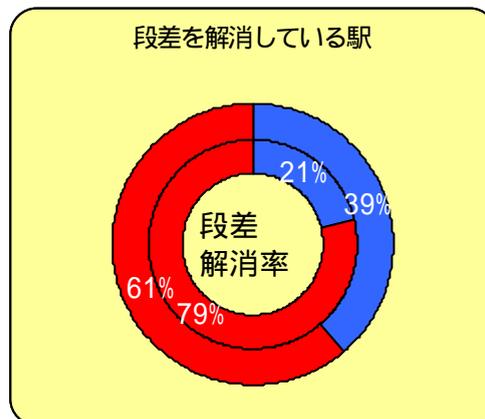
- 【場 所】 中国運輸局管内
- 【主 体】 鉄・軌道事業者
- 【目 的】 5,000人以上/日利用駅の段差解消率
- 【内 容】

交通バリアフリー法（平成12年施行）に基づき、鉄・軌道駅におけるエレベーター、エスカレーターの設置等、高齢者、身体障害者の方などが安全に利用しやすい旅客施設整備を国、自治体の協調補助により推進している。

14年度 駅数 5駅 設置施設 EV 8基、ES 2基

15年度 駅数 8駅 設置施設 EV 18基、ES 7基

内円：中国運輸局管内
外円：全国



事例 -3-2-2 路面電車、バス等への低床車両等の導入の促進

- 【場 所】 中国運輸局管内
 【主 体】 交通事業者
 【目 的】 公共交通機関の車両等のバリアフリー化の推進
 【内 容】

車両等のバリアフリー化の現状（平成 15 年 3 月 31 日現在）

鉄・軌道（総車両数 536両）

移動円滑化基準適合車両数 206両（38.4%）

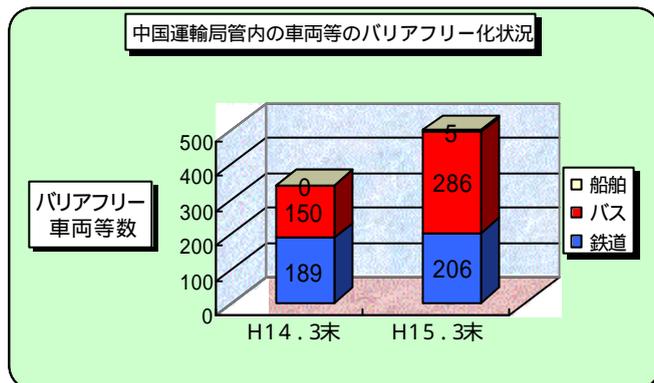
（参考） グリーンムーバー 60両

バス車両（総車両数 4,060台）

低床バス等 365台 移動円滑化基準適合車両数 286台（7.0%）

旅客船（総船舶数 225隻）

移動円滑化基準適合隻数 5隻（2.2%）



昇降機で車両甲板から客室に移動

しらきさん 441G/T

岩国松山高速（株）所有

事例 -3-2-3 鉄道とバスとの乗継円滑化

【場 所】 広島県廿日市市（広島電鉄(株)宮島線平良駅）

【目 的】 鉄道利用者の乗継負担の軽減

【内 容】

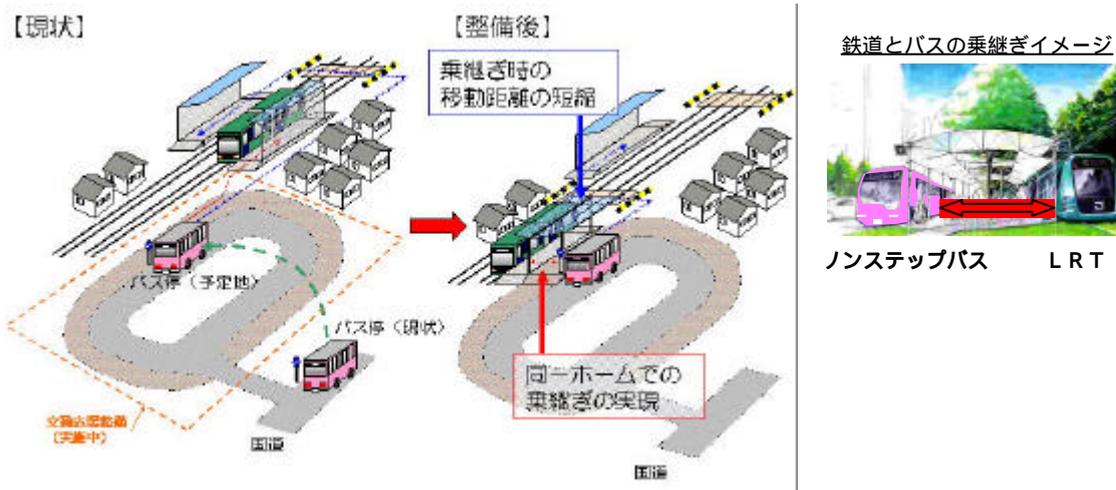
平良駅は、駅南側新宮地区における市庁舎や健康福祉センター等各種公共施設の玄関口の位置にあり、周辺はバリアフリー基本構想の重点整備地区に位置づけられている。

廿日市市は、平成9年から国道と駅のアクセスを改善するため、都市計画道路や広場を整備中であり、コミュニティバスの乗り入れが計画されている。鉄道車両も平成11年からLRVが導入されている。

このため、鉄道事業者は広場整備と併せ、鉄道のホームの改良等を行うことにより、鉄道とバスとの同一レベルでのバリアフリー乗継ぎの実現を図ることとしており、国においても幹線鉄道等活性化事業費補助(乗継円滑化)にて所要の支援を行っている。

工事期間 16年度～17年度

【広島電鉄平良駅整備計画イメージ】



事例 -3-2-4 バス停留所プラザ

- 【場 所】 大阪府
【主 体】 大阪市交通局
【目 的】 停留所施設の改善
【内 容】

雨の日や夏の日差しの強い日でも快適にバスを待てるように、日除けテントやベンチなどの設備を整えるほか、夜間においても時刻表が見やすいように大型の電照式案内板を設置したり、視覚障害者用のガイドチャイムや点字プレート、音声式のバスロケーションへ改善するとともに、バス停留所をコミュニティ機能を持つ憩いの場とするために、バス停留所と小公園が一体となったバス停留所プラザを整備。



杭全バス停留所プラザ



点字付き案内板

事例 -3-2-5 ハイグレードバス停

【場 所】 岡山市

【主 体】 オージー技研(株)

【内 容】

医療器具メーカーであるオージー技研(株)が本社屋の改築時に、自社前のバス停を本社屋のイメージとあわせたもの。

屋根付きでバリアフリー対策を施しているほか、ウッドベンチを設置、また両サイドに竹林を配置するなど、高級感を醸し出している。



【場 所】 日本郵政公社四国支社管内郵便局

【主 体】 日本郵政公社四国支社

【内 容】

日本郵政公社四国支社は、バスを待っている利用客について、隣接する郵便局においてバスを待ってもらうこととしている。

この結果、郵便局がバス停留所の機能を持つこととなり、利用者の利便性の向上が図れる。

具体的には、地域に親しまれる郵便局を目指そうとサービス向上策の一環として計画されているもので、バス停留所から10m以内にあり、待合いスペースを確保できる郵便局を管内68局選定している。

局内に「バスまちコーナー」を設置し、バスの到着時間が近づけば局員が声をかけて知らせる。

実施主体 生桑郵便局

局前のバス停に局内と同様のランプを設置し、利用者が乗ろうと思うバスに対応したランプを点灯。バスに乗車後は、郵便局職員がランプを消すこととなる。

設置及びメンテナンスもすべて郵便局にて対応している。

平成15年7月23日 中国新聞（美土里の郵便局）

美土里町生田の生桑郵便局が二十二日、局舎内をバスの待合室として開放し、局前のバス停にランプを設置してバスに乗客を知らせるサービスを開始した。

同郵便局は、局の掲示板上にパトカーと同じ回転式のランプ二個をつけた。吉田町方面への上がり線は黄色、町北部の青地区方面への下り線は青色にし、乗客は掲示板側面の各スイッチを入れた後、局舎内でバスを待つ。

同地区を通るバスは町と備北交通が共同運営する三路線で、平日は上下計二十便。バス利用者は病院や郵便局を訪れる高齢者が多いため、尾谷勇人局長が「局舎内のソファを使い、外でバスを待つ負担を軽減してもらおう」と企画。町と備北交通の了解を得て始めた。

- 【場 所】 岡山市
【主 体】 両備バス
【目 的】 利用者利便の向上
【内 容】

山陽新聞（15.10.17 付）

両備バスは定期券の料金をコンビニエンスストアで支払い、路線バスの車内で受け取るサービスを始めた。対象は西大寺特急（西大寺～JR岡山駅前）、玉野渋川特急（岡山駅前～宇野駅）の2路線、岡山県内のローソン、ファミリーマートで利用できる。

所定の申込用紙に必要事項を記入し、同社へファクス（または電子メール）で予約。発行される受け付け番号をコンビニの端末に入力し、定期券引換証を手渡し定期券を受け取る仕組み。

同社はこれまで、岡山県内18ヶ所の販売所で定期券を取り扱っていたが、営業時間が午前9時半から午後6時までで時間的な制約があるため、24時間受け付け可能とし、利便性を向上させた。

日本経済新聞（15.10.17 付）

両備バスはバスの乗車定期券をファクスや電子メールで申込み、コンビニエンスストアで料金の支払いができるサービスを始めた。

指定する便に乗れば車内で受け取れるので販売所に出向く必要がない。

コンビニでの支払いと車内受け取りによる購入方式は全国のバス事業者では初めて。

新サービス「定期券バスdeキャッチ」は岡山駅～西大寺間と岡山駅前～宇野駅間の座席指定の特急バス2路線が対象。車内備え付けの用紙に必要事項を記しファクスで送るか、電子メールで申し込む。

支払いは岡山県内のローソンとファミリーマート計約190店舗で24時間可能。申込時に受け取りを希望する便を指定すれば、車内で引換証と交換で定期券を受け取れる。同社の定期券販売所は県内18ヶ所、営業時間は午前9時30分から午後6時まで。

サービスの対象以外の路線は引き続き販売所での購入となるが、同社は「将来はすべての路線についてコンビニで購入できるようにしたい」としている。

事例 -3-2-8 松江市バスロケーションシステム

- 【場 所】 松江市
【主 体】 松江市
【目 的】 利用者利便の向上
【内 容】

松江市は都心部への一極集中、城下町特有の屈曲・狭幅の道路形態により、慢性的な渋滞が発生。そのため、道路管理者と観光管理者、バス事業者等が連携を図りながら公共交通案内と観光情報を提供し、国内外の観光客の移動を支援することを目的に、「たびねっと松江（観光・交通案内システム）」「ぐるっとバスナビ（松江市バスロケーションシステム）」両サービスを開始。

「たびねっと松江」は松江市を中心に各事業者が保有する観光情報や交通情報を国際観光案内所に設置の街頭端末やインターネットへ情報提供し、観光客は観光ルートの選択によって、乗換案内、時刻表案内など、これまで分散していた情報を一元的に把握できる。

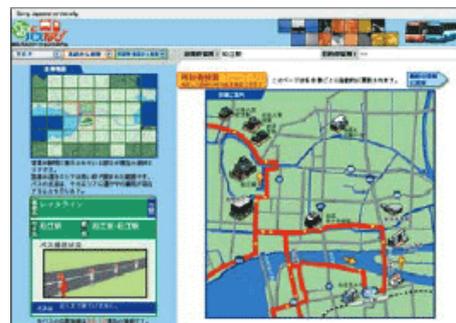
「ぐるっとバスナビ」はGPSを活用して松江市内の主要バス停49ヶ所に表示器を設置し路線バスの運行状況を提供。

（国土交通省道路局HPより）

「ぐるっとバスナビ」対応のバス停（松江駅前）



「ぐるっとバスナビ」



（国土交通省道路局HPより）

【場 所】 広島市

【主 体】 使いやすい公共交通推進委員会・広島のみちの使い方を考える研究会

【目 的】 利用者利便の向上

【内 容】

「標準時刻表」を実際に掲示する社会実験として、平成14年度より交通エコロジー・モビリティ財団の「住民主体の環境配慮型地域づくり推進事業」に採択され、広島のみちの使い方を考える研究会が同財団等から支援を受けて実施。

また、本実験は、中国運輸局の「広島都市圏におけるバス等運行情報の高度化調査」と連携している。

実験の概要

- ・ 実験期間：平成15年9月1日～9月30日（1ヶ月）
- ・ 対象区間及び系統

紙屋町（交差点西側）～十日市～広瀬町～横川駅前（横川1丁目）～大芝町を対象として、この区間のバス停を発着する以下の系統を対象に、各バス停に共通時刻表を掲示。

広島交通・広島電鉄：広島駅・バスセンター発着 横川以北方面行きの郊外線全線

広島バス：市内22号線

中国JRバス：広島駅・バスセンター発着横川および横川以北方面行き全系統

（広島のみちの使い方を考える研究会資料より）

【場 所】 JR山口線沿線（山口市、小郡町）

【主 体】 JR山口線沿線の高校利用者協議会

（JR西日本広島支社山口鉄道部・山口線沿線高校7校・山口市・小郡町・中国運輸局山口支局）

【目 的】 利用者利便の向上

【内 容】

平成15年度にJR山口線を利用する高校生を対象に、駅設備・駅周辺の不満な点や、改善要望などについてアンケートを実施し、その結果を参考に山口市内及び小郡町内の各駅などで2度にわたり点検活動を実施している。

点検した参加者からは、「ホームが狭く危険」「トイレが必要」「風雨を避ける屋根が必要」といった意見が出され、山口線各駅の設備の問題点や課題が浮き彫りになりました。

これらの結果を踏まえ、JR山口線がさらに利用しやすくなるよう、駅設備等の改善に利用者・自治体・事業者が一体となって取り組んでいます。



J R山口線の点検活動



鉄道をもっと利用しやすく

【場 所】 広島市

【主 体】 中国運輸局

【目 的】 中国地方の公共交通バリアフリー支援ボランティア活動によるサポート体制の構築に伴う公共交通利用促進

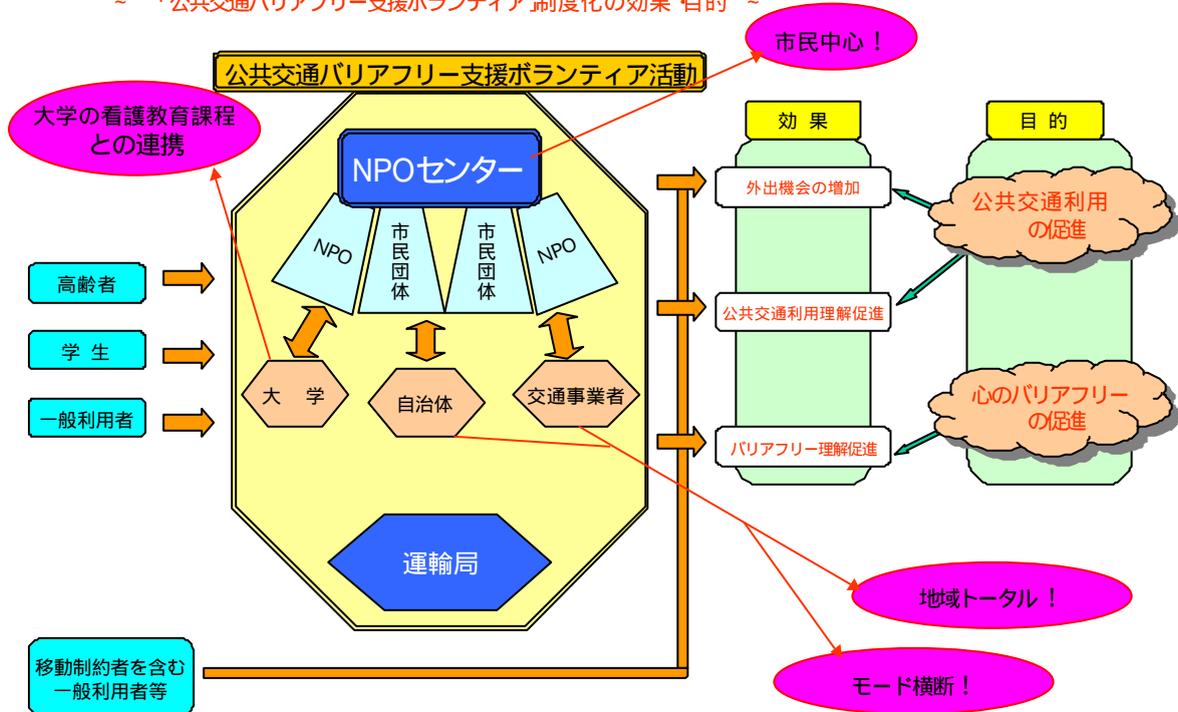
【内 容】

旅客施設等ハード面の整備を効果的なものとするとともに、ハード面の整備進捗の限界等を補うためにもソフト面のバリアフリー化の促進が必要である。

市民等のボランティア意識・活動が最大限効率的・有効に発揮できる環境整備・プラットフォーム造りとともに高齢者の社会参加促進による公共交通利用・社会生活に対する行動変化等の検証を行うため公共交通バリアフリー支援ボランティア制度化の実証実験を行うもの。

「公共交通バリアフリー支援ボランティア」による交通バリアフリーの促進について

～ 「公共交通バリアフリー支援ボランティア」制度化の効果・目的 ～



事例 -3-2-12 おでかけ相談デスク

- 【場 所】 津山市
【主 体】 岡山県・中国運輸局
【目 的】 移動制約者の外出支援
【内 容】

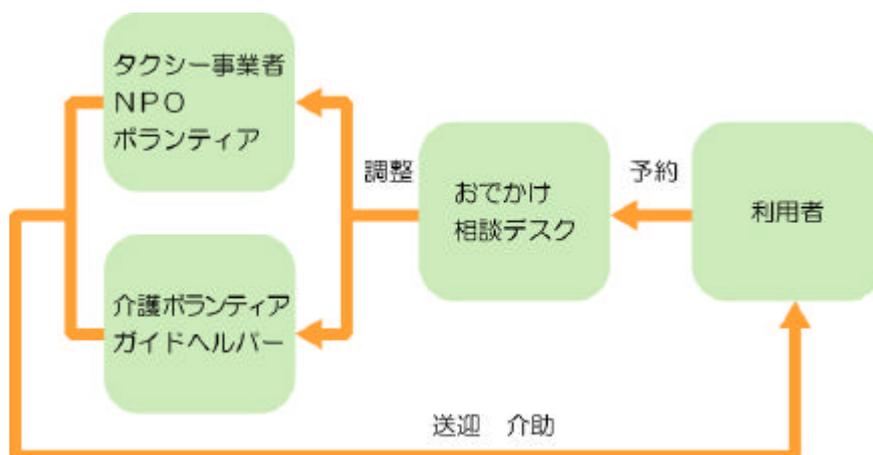
〔タクシー事業者、NPO法人等の福祉車両の効率的・効果的運用〕

福祉タクシーの運行はタクシー事業者、NPO法人、ボランティア団体等の多様な形態が存在するが、移動制約者は各サービスに関する情報が入手しにくい、予約が煩雑等の不便さを抱えており、供給者も採算面等の問題を抱えていることから、移送サービスの利便性を向上させるため、福祉車両の効率的・効果的運用を行う。

お出かけ相談窓口（コーディネーター）を設置し、複数のタクシー事業者等の福祉車両を窓口一括型の予約方法で運行。

タクシー事業者のオフピークを利用した割引運賃を活用。

タクシー事業者、NPO法人、ボランティア団体の特性を活かした棲み分け。



【場 所】 広島市

【主 体】 つばめ交通(株)

【内 容】

24時間365日休み無く、無線を搭載して町中を走り回るタクシーの機動性を利用し、日常生活をサポートする事業。

利用者がいったん登録すると、利用者からの電話によりCTIとGPSにより最寄りの車両をいち早く配車する。

・レスキューサービス

ホームセキュリティ、道案内、バッテリーチャージ

・コンビニサービス

病院の順番取り、買い物の代理受け取り・お届け、切符の予約代行・お届け

・エクスプレスサービス

書類の代理受け取り・お届け、忘れ物のお届け



事例 -3-3-1 米子市100円循環バス「だんだんバス」

【主 体】 米子市

【目 的】 運行経路変更による利便性の向上

【内 容】

マイカー利用者の増加に伴い、バス利用者が減少する中、市内路線バス活性化の見地からワンコイン（100円）で利用できる市内循環バスを運行し、市民生活の利便性を高め、市街地の公共交通空白地帯の解消を目的として運行している。

運行開始から11月後、市内大規模商業施設のバス停を利用者利便を高めるため敷地内に移動させることにより、利用者が大幅に増加した。



事例 -3-3-2 イエローバス (広域行政組合によるバスの運行)

【場 所】 島根県安来市・能義郡

【主 体】 安来能義広域行政組合 (安来市、広瀬町、伯太町)

【目 的】 路線廃止に伴う代替バス

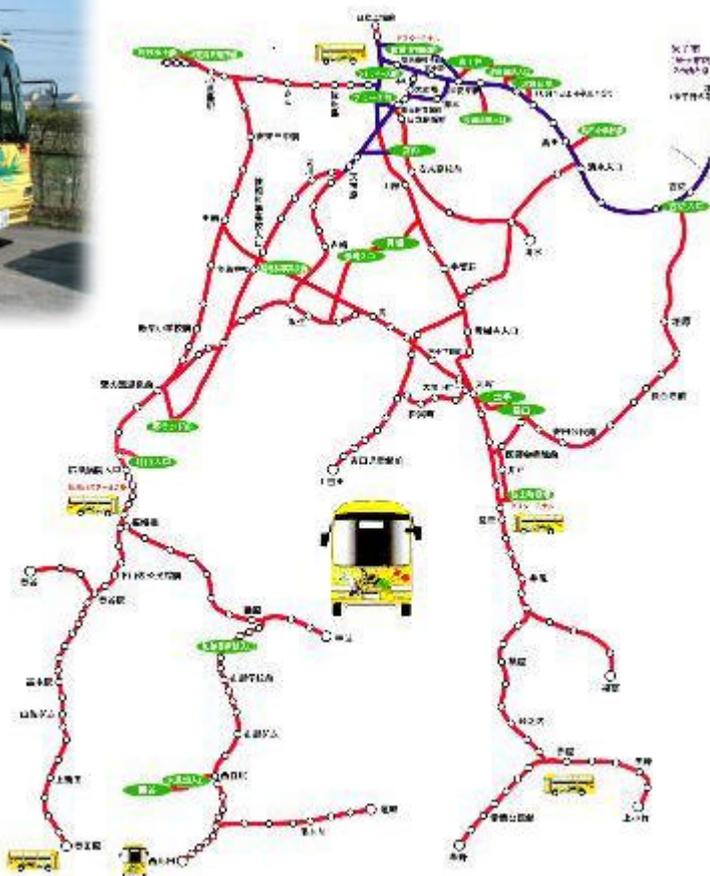
【内 容】

バス事業者の路線廃止により、全国で初めて複数の自治体が一部事務組合方式で広域路線バスを運行。

地域の要望を取り入れ、路線廃止時の13路線21系統から、15路線29系統に増やし、便数も19便増の153便/日で運行している。

運賃は全区間1乗車200円で設定し、身体障害者等の交通弱者についても小学生と同額の半額に運賃を設定している。

運行委託費等の事業運営費については、赤字分を国、県、市町村が補填している。



【場 所】 岡山県哲西町（道の駅「鯉の窪」隣接）

【主 体】 岡山県哲西町

【目 的】 生活拠点の配置見直しと連動した交通システムの構築

【内 容】

行政・教育文化・医療・福祉等の各種施設の集中的配置による「中心広場」の創設（施設の地域拠点化、多機能化）

公共交通機関

J R 芸備線 市岡駅 矢神駅 野馳駅

新見 東城 6 便 東城 新見 7 便

バス（町営バス）

下夕組・東城方面（きらめき広場経由）

平日 4 便 土曜日 5 便（日曜日運休）全便が市岡

・矢神・野馳駅経由

野原・神社前方面（きらめき広場経由）

平日 4 便 日曜日運休）*野馳駅 3 便経由

福祉バス

週 1 回各地区より診療所に運行し、復路は哲西町診療所発 12 時 30 分往路運行路線の逆経路で運行。

庁舎

執務室、町長室、出納室、総務企画課、産業建設課、議会、議場、委員会室、議会事務局、書庫、防災無線室

生涯学習センター

教育委員会事務局、研修室、和室、音楽室、創作活動室、展示ギャラリー、文化ホール、図書館、A V コーナー、I T コーナー

保健福祉センター

相談室、調理実習室、栄養改善室、機能訓練室、プレイルーム

診療所

内科 診察室、内視鏡室、C T 室、レントゲン室、エコー室、受付

歯科 診察室、歯科エックス線室



事例 -3-4-1 岡山 まちかどバス停探偵団」

【場 所】 岡山県岡山市全域とその周辺

【主 体】 NPO法人（路面電車と都市の未来を考える会（RACDA））
岡山市内小学校 2 校（津島小学校 6 年生・足守小学校 4 年生）

【目 的】 地域住民やNPOと連携した総合的な公共交通利用促進策の展開

【内 容】

高齢化の進展等を踏まえた今後のバス利用促進の観点から、バス停が清潔で気持ちよく快適にバスを待つことの出来る、地域の「モビリティ・オアシス（移動に当たっての憩いの場）」となるような環境整備を図ることが必要である。このため、バス利用者・地域住民で「まちかどバス停探偵団」を構成し、岡山市内及びその周辺のバス停の実態調査を行うとともに、バス停の現状情報マップの作成・改善策等を「まちかどバス停探偵団協議会」で検討した。検討結果については、オムニバスタウン整備総合対策事業費等で改善策を講じていく。

【調査活動内容】

チェック項目：バス停の構造・サインシステム・汚れ状況
スペース・上屋・ベンチ等整備状況
（バス停現状情報マップで快適なバス停を開示）

【調査区域】 岡山市全域とその周辺

東 山陽団地・ネオポリス、牛窓町、八日市（R2）

西 中庄

南 紅陽台団地（R30） 灘崎町手前（県道岡山～児島線）
金甲山、桃太郎荘（児島半島）

北 岡山空港・山の上・日応寺付近、免許センター（R53）



事例 -3-4-2 町村組合による整備計画

【場 所】 島根県隠岐島前

【主 体】 島前町村組合

【目 的】 隠岐島前各島相互の海上交通網の充実

【内 容】

島前相互の海上交通網を充実させるため、老朽化した船の更新と増便を図る整備計画案が、島前町村組合により発表された（平成13年12月）。同組合が島民の利便性向上や観光振興に向けて取り組み、島根県も財政支援制度を創設するというものであり、平成14年度に新型船を建造し、15年春からの就航という内容であった。

従来、島前内を運航する船は、海士町を起点に西ノ島町、知夫村間を往復する内航船（旅客船）と海士町～西ノ島町間を往復するフェリーの2種類があり、通院や通学、買い物などに利用されているが、便数が少ない上、運航ダイヤの改善も望まれていた。

計画案では、建造後約20年の現在の船を、フェリーは3億円を、内航船（旅客船）は1億1千万円をかけて買い換え、1.5倍の高速化及び内航船（旅客船）の便数倍増、フェリーの2往復増便を図ることとしている。別府（西ノ島）～来居（知夫）間にもフェリーを就航させ、島前高校（海士町）に通う知夫村の生徒が自宅通学出来るようにする。

県では、新造船の投入によって3町村の一体感が強まり、合併への機運が高まる効果も期待しており、新型船建造費の20%と運航欠損金の10%を支援する。

また、島根県海士町では、現行2港3航路体制を、平成14年3月より港を1つに統合し、乗り換えの不便解消を図っていく計画に取り組んでいる。



事例 -3-4-4 集落ハイヤー

- 【場 所】 三次市
【主 体】 三次市上田町内会
【目 的】 生活交通の確保
【内 容】

三次市街から20キロに位置する上田町には中学統廃合による見返りバス路線があるものの、1日1往復のため通院、買い物には不便であった。

町内全戸へのアンケートを実施し、運行必要日数、曜日、巡回コース、支払可能金額を集約し、タクシー会社と往復1万5千円で契約し、運賃を千円に設定。

運行にあたっては窓口の住民を決め、前日までに乗客数や送迎地点を会社に連絡。運賃は乗客同士が集め、専用の口座に一時保管し、一月ごとにタクシー会社に精算。赤字が出た場合は町内会から補填。

運行から2年後、三次市は配車料の半額を助成する助成制度を創設。その結果、隔週運行から毎週運行となり、運賃も八百円に値下げした。試みは7集落に広がっている。



事例 -3-4-5 地域の協議会によるバスの運行

【場 所】 愛知県豊田市

【主 体】 ふれあいバス運営協議会

【目 的】 交通空白地域の解消・生活交通の確保

【内 容】

豊田市の高岡地区では、地区内を走る2路線が廃止対象となったことから、平成12年8月27日、11自治区による地域の運営組織「ふれあいバス運営協議会」を設立、翌28日には同協議会と交通事業者の組織「豊田市生活交通運行事業者協会」、そして市の三者による運行協定を締結し、全国でも珍しい地域主体のバスが走り出すこととなった。

地域を走る路線は、マイクロバスの利点を活かし、従来の路線バスでは考えられないほどきめ細かく設定。また、利用者確保を進めるために世帯単位の会員制を導入し、会員世帯は、年会費を納めることで利用する人数分の定期券の発行を受けられることとした。



事例 -3-4-6 駅のレンタサイクル

【場 所】 JR福塩線河佐駅（府中市）・三良坂駅（広島県三良坂町）

【主 体】 福塩線対策協議会（福山市等3市7町）

【目 的】 観光客誘致によるJR活性化

【内 容】

JR福塩線沿線の3市7町でによる福塩線対策協議会は、夏休みの期間中、河佐駅と三良坂駅で無料によるレンタサイクルを導入。

予約なしで利用でき、駅周辺の河佐峡、八田原ダム、三良坂平和美術館等への使用を想定している。

府中駅以北の利用促進を狙い、各駅には散策マップを準備しPRしている。

事例 - 3-4-7 松山都市圏における ICカードの導入

- 【場 所】 松山市
【主 体】 伊予鉄道(株)
【目 的】 利用者利便の向上
【内 容】

松山都市圏において、鉄道・軌道・バスを一元的に運行している伊予鉄道(株)が16年3月から8月まで実証実験を行い、16年度中の本格導入を予定している。

電車、バスに共通利用できるタッチ式のICカードであり、1日に2回以上乗車すると、3回目以降が無料になる1日乗り放題機能も付加されている。

また、松山城(ロープウェイ、天守閣)、道後温泉本館などの観光施設については、このICカードにより2割引の特典が受けられることから、1日乗り放題機能と相まって観光振興の見地からも非常に期待されている。



【場 所】 関西圏

【主 体】 スルッとKANSAI協議会、(株)スルッとKANSAI

【目 的】 利用者利便の向上

【内 容】

概要

関西の鉄道・バス事業者48社局で構成されるスルッとKANSAI協議会は、クレジット会社に決済業務を一括委託し、2004年夏以降加盟社局が順次ICカード乗車券を発行する。

公共交通機関の乗車券機能に加え、物販店、観光施設等での決済を可能とし、利用者、交通事業者、地域の事業者の利便向上と集客力アップを目指す。

カードの種類

- 一般カード・・・ジュニア、キッズ以外
- ジュニアカード・・・中高生
- キッズカード・・・小学生

特徴

- ・パスケースに入れたまま、改札機の読み取り部にタッチするだけで通過
- ・ポストペイ式とプリペイド式がある。
ポストペイ式は、乗車時点で運賃を収受せず、1ヶ月分の利用額を後払いで精算するシステムで、区間・回数によって割引を適用する。利用者は定期券を購入するか回数券を購入するか気にすることなく、改札機を通過するだけで最適の運賃で鉄道・バスの利用が可能となる。
- ・プリペイド式カードでは、残額が少なくなったICカード乗車券に対し、積み増し機によってチャージするのではなく、改札機通過時に自動チャージする。利用者のチャージの手間を省くとともに、事業者も積み増し機の設置が不要となる。
- ・駅及び駅構内の店舗（駅売店、コンビニエンスストアなど）、駅周辺の商店街の店舗、観光施設などで少額利用に限定した決済サービスの提供。少額決済サービスの利用金額等に応じて決済金額の一部を利用者に還元。

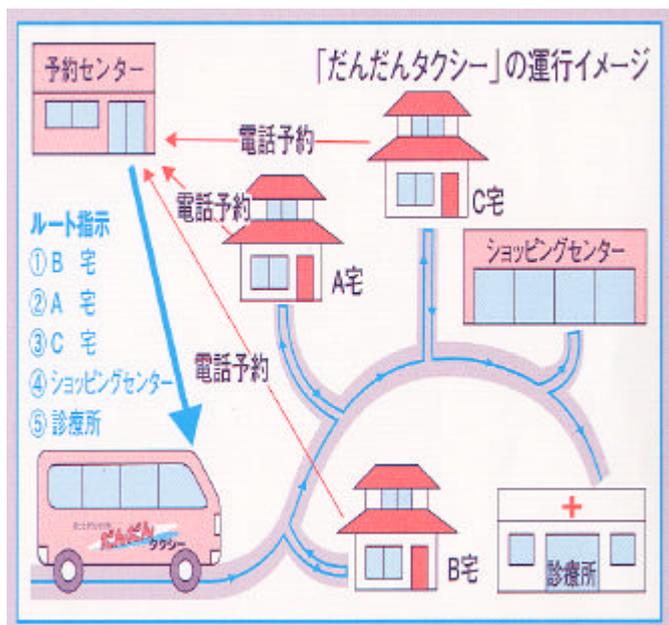
【場 所】 島根県掛合町

【主 体】 島根県掛合町（タクシー会社2社に運行委託）

【目 的】 域内生活交通の確保

【内 容】

- ・路線バスとタクシーの中間的交通機関として、利用者が停留所まで出なくてもジャンボタクシーが自宅まで迎えに来て、目的地まで運んでくれる仕組み。
 - ・一乗車300円均一
 - ・利用者は運行ダイヤの30分前までに予約センターに連絡
 - ・予約時間 7:30～17:00 土曜・日曜・祝日は運休
 - ・町内タクシー2事業者に21条許可
- （支援関係）
- ・県単独補助制度（運行費）
 - ・町から事業者に対してタクシーの借上げ代金として一日当たり、1700円程度の委託料契約あり。
 - ・一事業者には、町が購入したジャンボタクシーを賃貸契約により貸与し、委託料の調整実施。



事例 -3-5-3 交通計画策定支援システム (ComPASS) による支援

- 【場 所】 地方自治体
【主 体】 中国運輸局
【目 的】 交通計画策定支援システム (ComPASS) による支援
【内 容】

[ComPASS の目的]

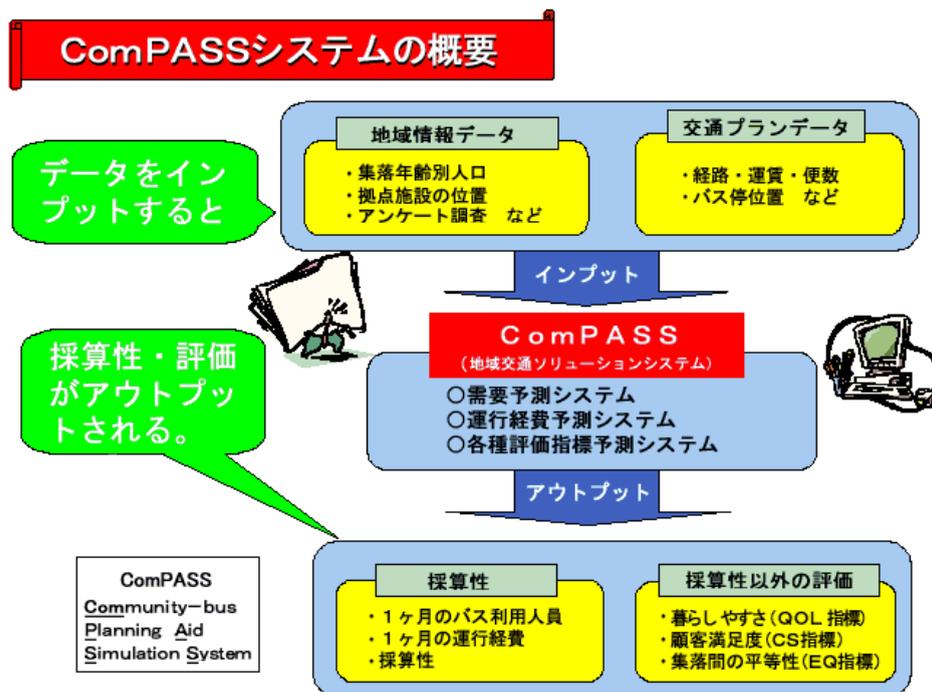
ComPASS は、地域において、規制緩和等に伴い廃止されるバス路線の代替路線を計画する場合や市町村合併に伴い公共交通ネットワークの見直しをする場合等に、GIS を活用して、高齢者等の移動手段を確保するためのコミュニティバスやデマンドタクシータイプ等の地域の公共交通計画を支援するシミュレーションシステムです。

[システムの概要]

ComPASS は GIS(地理情報システム)を活用して、運行計画代替案の検討や評価を「採算性」と「採算性以外の評価指標」から算出します。採算性以外の評価では、公共交通サービスによる「暮らしやすさ(QOL 指標)」、「顧客満足度(CS 指標)」、「集落間の平等性(EQ 指標)」から評価を行います。

* ComPASS のソフトは申請に基づき地方自治体等に無償配布

なお、GIS ソフト等は、地方自治体で別途用意される必要があります。



事例 -3-5-4 市町村営バス標準管理システム (ComMASS) による支援

【場 所】 地方自治体

【主 体】 中国運輸局

【目 的】 市町村営バス標準管理システム (ComMASS) による支援

【内 容】

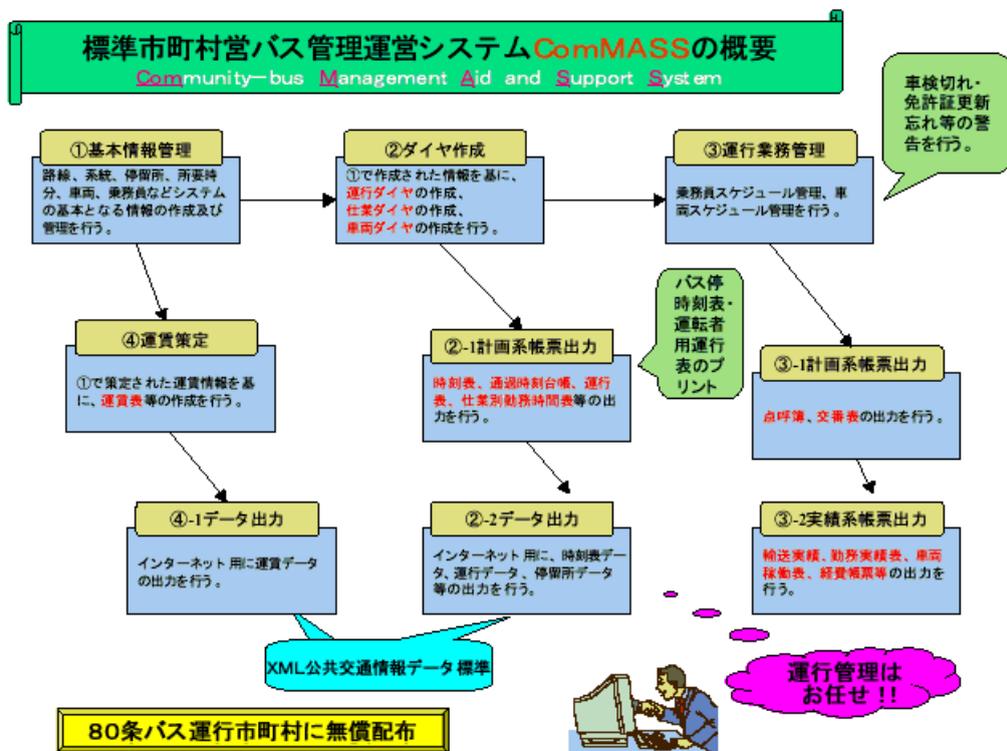
[ComMASS の目的]

ComMASS は、規制緩和等に伴い路線バスの撤退・再編などにより、市町村自らが市町村営バス運営の担い手となりつつあり、運営に必要となるさまざまな管理業務の適切・効率的な実施と安全運行をサポートするためのシステムです。

[システムの概要]

ComMASS は、市町村がバス事業を運営する際に必要となるダイヤ作成や車両の管理、運転者の勤務時間管理や輸送実績の集計など、さまざまな管理業務の効率的かつ適切な実施と安全運行をサポートするシステムです。

* ComMASS のソフトは申請に基づき地方自治体等に無償配布



事例 -3-5-5 Moving-iの活用による情報提供の拡大

【場 所】 広島都市圏

【主 体】 Moving-i ネットワーク（交通事業者、EMM 社、国、県、市他）

【目 的】 公共交通・地域の活性化、利用者利便の向上

【内 容】

利用者が、乗り継ぎ情報や市内トイレマップ、駅・港のバリアフリー情報など、移動のために必要となる情報を「いつでも、だれでも、どこでも、かんたんに」入手できるような交通の情報バリアフリーをめざし、Moving-i ネットワーク運用を平成16年3月24日から開始した。

広島都市圏のバス・電車・船などの交通事業者、自治体などの協力・連携のコラボレーションにより、陸・海・空相互の乗り継ぎ情報などを、Moving-i ブランドとして、総合的・統一的な提供を可能とした。（都市圏全体の複数モード・複数事業者の総合的・協力・連携プロジェクトとして我が国初。）

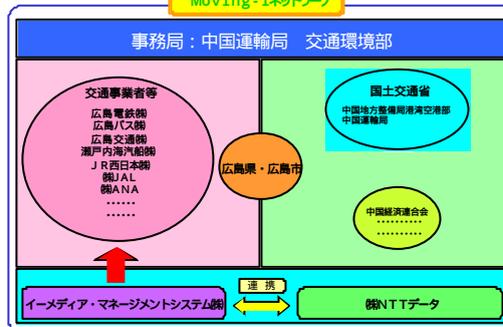
Moving-i の画面の設置箇所



Moving-i の画面の状況

時刻	種別	広島	広島	広島
08:00	大人	1	06:30	07:30
4:57	小	2	07:30	08:47
5:00	広島	3	06:30	08:30
08:00	小	4	06:30	08:58
2:30	小	5	10:30	11:30
2:00	広島	6	11:30	11:53
12:47	広島	7	12:30	13:28

Moving-iネットワーク



事例 -3-5-6 インターネット等の活用による都市圏の公共交通運行情報の提供

【場 所】 広島都市圏

【主 体】 中国運輸局

【目 的】 インターネット等の活用による都市圏の公共交通運行情報の提供

【内 容】

バスなど地域の公共交通機関をより使いやすいものにし、活性化するためには、IT技術を活用した、複数の公共交通機関の情報を総合的に提供する情報提供の高度化を図っていく必要があります。

このため、国土交通省では、インターネット等を通じ利用者に公共交通情報を総合的に提供するためのシステムを構築するために、「公共交通情報データ標準」を策定し、その普及促進に取り組んでいます。

現在、広島都市圏においては、多数のバス事業者により多数の路線運行サービスが行われており、「総合公共交通情報システム」の構築を視野に入れた公共交通情報データ標準の導入促進のための取組みが進められています。

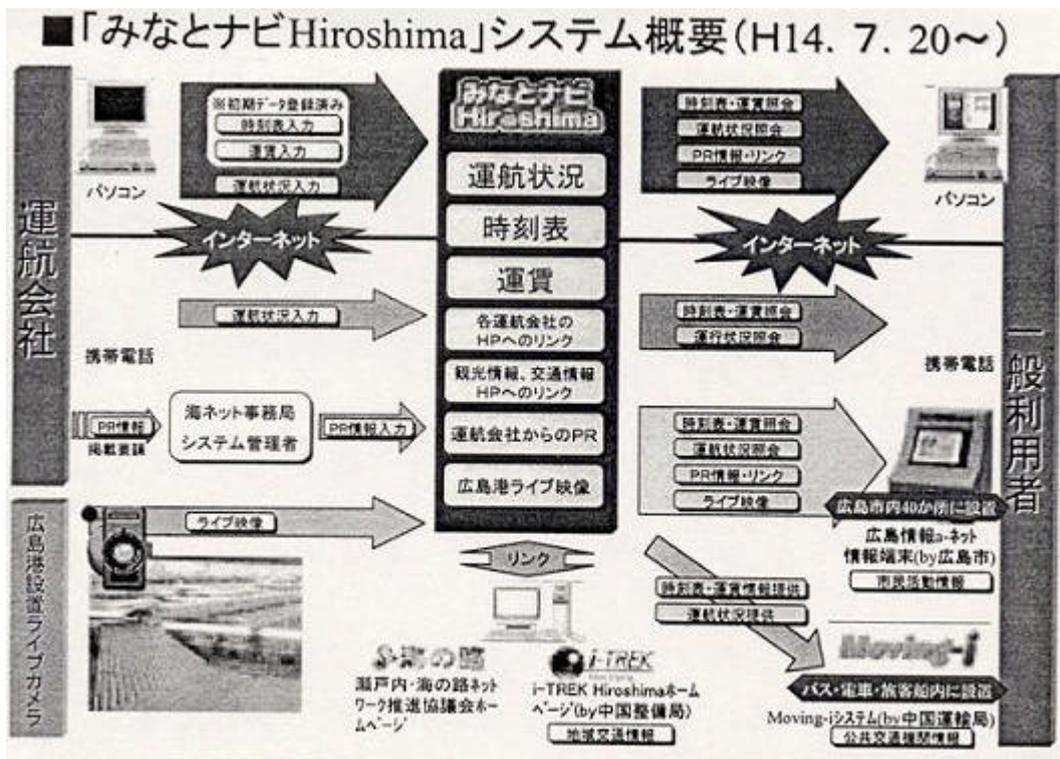


事例 -3-5-7 みなとナビ

- 【主 体】 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
- 【目 的】 パソコン・携帯電話による運航情報の発信
- 【内 容】

瀬戸内沿岸11府県177市町村等で構成する瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会では、運航会社の協力を得て、濃霧や台風などの影響を受けやすい旅客航路について、インターネットや携帯電話により、運航状況、時刻表、運賃等の情報を提供している。

現在、広島港を中心とした「みなとナビHiroshima」(平成14年7月20日より運用開始)と三原港・尾道港を中心とした「みなとナビ三原・尾道」(平成16年4月1日より運用開始)が運用されており、今後は高松・宇野エリアを対象としたシステムについても運用を予定している。



事例 -3-5-8 パソコン等による時刻表等の提供

【場 所】 岡山県久米郡旭町

【主 体】 共同バス運行対策協議会（津山市、中央町、久米町、旭町）

【目 的】 生活バス路線の利便性向上

【内 容】

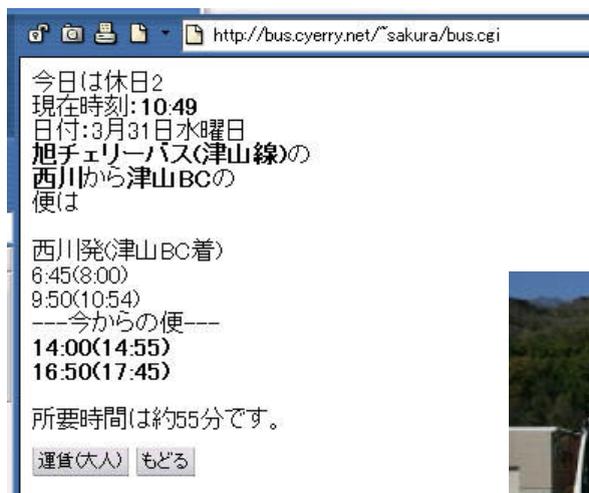
民間バス事業者の路線廃止により、沿線自治体が代替バスを運行開始。

起点：旭町、終点：津山バスセンター、キロ程：35.7km

所用時間：1時間10分、運行回数：4往復/日

利用者利便の向上のため、運行開始にあたっては、パソコン・携帯電話から時刻等を検索できる「運賃・時刻早わかりサイト」を開設した。

このサイトは、乗降バス停を選択すると、今から利用できるバスの時刻、目的地までの所用時間、運賃が表示されるもので、利用者は手軽に運行時刻を知ることができる。



http://bus.cyerry.net/~sakura/bus.cgi

今日は休日2
現在時刻: 10:49
日付: 3月31日水曜日
旭チェリーバス(津山線)の
西川から津山BCの
便は

西川発(津山BC着)
6:45(8:00)
9:50(10:54)
---今からの便---
14:00(14:55)
16:50(17:45)

所要時間は約55分です。

運賃(大人) もどる

運賃・時刻早わかりサイト



あさひチェリーバス

事例 -3-6-1 萩市内循環バス「まゐるバス」

【場 所】 萩市

【主 体】 萩市

【目 的】 郊外への交通手段の確保と観光スポットへのアクセスの充実化

【内 容】

市民病院や福祉総合施設の郊外移転により、新たな交通手段の必要性が高まるとともに、市内に点在する萩城跡等の観光施設を結ぶ交通手段がないことから、新たなバスサービスとしてコミュニティバス「まゐるバス」を導入した。

東回り、西回りの1日23便により運行し、運賃は1乗車100円で設定するとともに、観光客用に1日乗車券(500円)、2日乗車券(700円)も設定済み。

車両は小型低床ノンステップバスを導入し、運行コースについても商店街を通るなど、地域活性化と観光振興に効果がでている。



事例 -3-6-2 のりあいバス乗放題手形

【場 所】 鳥取県

【主 体】 日の丸自動車(株)、日本交通(株)

【目 的】 観光二次交通の整備による観光振興

【内 容】

〔鳥取県内路線バス3日間乗り放題パス〕

「因幡之国のりあいバス乗放題手形(鳥取県東部・中部発売)」及び「伯耆の国のりあいバス乗放題手形(鳥取県西部発売)」は、一部の高速バス等を除く、鳥取県内の路線バス(コミュニティーバス、一部の空港リムジンバスを含む。)に3日間何度でも乗車することができ、発売金額も1,500円という非常に割安な価格設定としている。

また、県内各地の観光施設や宿泊施設で入場料金の割引等の特典が受けられることから、観光需要の掘り起こしに寄与している。



事例 -3-6-3 中国ブロック観光情報サイト

【主 体】 中国運輸局

【目 的】 周遊ルートに関する交通機関の時刻表等の一元的提供

【内 容】

駅、旅客船ターミナル等からの二次交通の情報が少ないため、観光客がレンタカー、観光バスを利用する定型的な移動（観光）を余儀なくされている状況がある。一方、各地の自治体等がいろいろな観光ルートを提供しているものの、情報が散乱しており、観光客は簡単に希望する情報を得にくい。

中国ブロック観光情報サイトは、各地の公共交通機関を活用した観光周遊ルートや、市町村のHP、事業者のHPとのリンクにより、利用可能な交通機関の時刻表等を一元的に提供することを予定している。



ポータルサイトのイメージ（一部）

事例 -3-6-4 厳島神社の大鳥居を經由する運航サービス

【場 所】 広島県宮島町

【主 体】 民間

【目 的】 交通手段の観光資源化による観光客増

【内 容】

世界遺産である厳島神社を有する厳島と本土を結ぶ宮島航路では、本土を9時10分から16時10分の間に出港する便において、厳島神社の大鳥居沖を經由して運航するサービスを行っている。



(みやじま発9：10～16：10の間は、厳島神社の大鳥居沖を經由する)



(鉄道紀行HPより)

事例 -3-6-5 学校教育の一環としての宿泊体験学習

- 【場 所】 滋賀県琵琶湖
【主 体】 地方公共団体
【目 的】 宿泊体験学習による児童教育
【内 容】

滋賀県では、子供たちの宿泊体験学習の場を母なる湖「琵琶湖」に求め、県内の小学5年生全員を対象に、学校教育の一環として、湖上に浮かぶ学習船「うみのこ」による航海体験学習事業を実施しています。

ここでは、一泊二日の湖上航海を通じて、湖水の調査をはじめとする環境学習や、集団宿泊を通じて色々な地域の友だちとの交流や友情を深めることなどをねらいとした様々な取り組みが行われています。

(子供たちは「うみのこ」に乗船し、他の学校の子供たちと共同生活をする中で、琵琶湖の美しさや郷土のすばらしさを発見し、人や自然を大切にする心を育んでいます。)

(滋賀県立びわ湖フローティングスクールHPより)

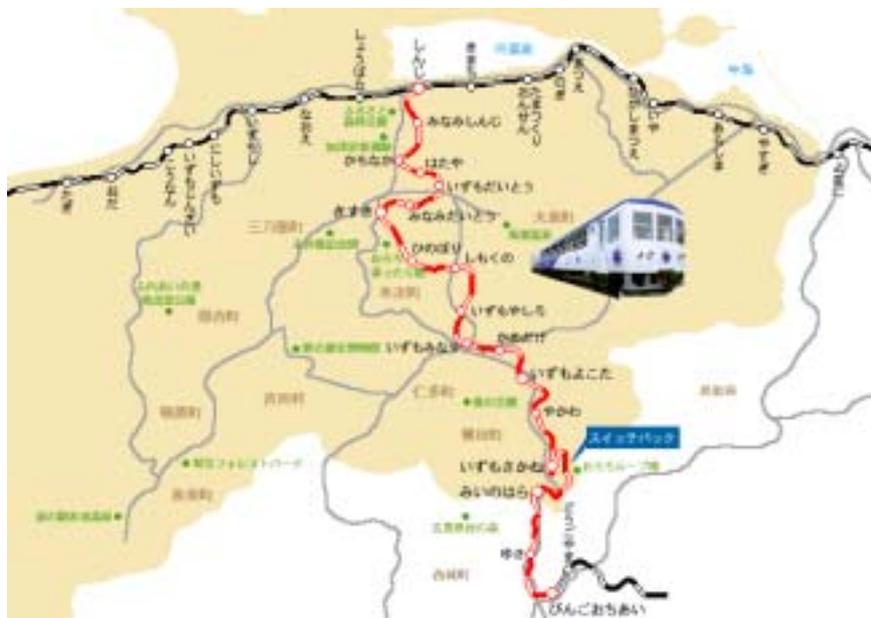


学 習 船 「うみのこ」
長 さ 65メートル
総トン数 928トン
(一度に240人が宿泊可能)

事例 -3-6-6 木次線でのトロッコ列車「奥出雲おろち号」運行

- 【場 所】 J R 木次線
- 【主 体】 J R 西日本米子支社
- 【目 的】 地方鉄道の活性化
- 【内 容】

運 転 区 間：木次線木次駅から備後落合駅間（60.8km）一日一往復
運 転 期 間：平成 15 年 7 月 5 日（土）～9 月 28 日（日）までの土・日・
祝・夏休み期間中（8/14 を除く）
全席指定席：乗車券と指定席料金 510 円必要



事例 -3-7-1 低公害車普及促進イベント

【場 所】 広島市安佐南区大塚西 ビッグアーチ

【主 体】 中国地方低公害車導入促進協議会、社団法人日本ガス協会

【目 的】 低公害車に実際に試乗してもらい、身近な物として体感することで導入を促進する

【内 容】

中国地方低公害車導入促進協議会（平成 14 年 10 月 29 日、低公害車の導入を促進するため、国、地方自治体、関係団体及び産業界が連携・協力して、情報交換・啓発、広報等の活動を行うことを目的として設立。事務局は中国運輸局、中国経済産業局）は、社団法人日本ガス協会と連携して、主に自治体・トラック事業者を対象として、また、一般ユーザーにも参加を呼びかけて低公害車の試乗・展示会を開催した。

燃料電池車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、電気自動車に実際に試乗してもらい、低公害車を身近な物として体感することで導入を促進しようと企画し、平日ながら 150 人を超える来場者があった。

【試乗展示車】

燃料電池車（1 台） 天然ガス自動車（10 台） ハイブリッド自動車（2 台）
電気自動車（2 台）



事例 -3-7-2 「環境の日」ひろしま大会における環境活動展示

【場 所】 ハノーバー庭園（広島市中区基町）ほか

【主 体】 「環境の日」ひろしま大会実行委員会、環境にやさしい広島県民会議等

【目 的】 6月の環境月間行事の一環として、環境保全に関する活動を積極的に促進する

【内 容】

6月の環境月間期間中の2日間にわたり、企業、団体、行政機関等が参加して展示会等を開催した。

中国運輸局では、環境活動展示として、パンフレット等を配布して、低公害車の普及啓発活動を行った。

6月5日：環境活動展示、新エネルギー展、フリーマーケット

6月6日：環境活動展示、新エネルギー展、フリーマーケット、人形劇・紙芝居

「環境の日」ひろしま大会 出展要領

環境にやさしいひろしま県民会議構成団体名簿

1 開催趣旨

「環境の日」を記念し、広く県民、民間団体、企業等の参加のもと、環境保全に関する活動を積極的に促進するために、「環境の日」ひろしま大会を開催します。

2 開催概要

日 程 平成16年6月5日(土)10:00～17:00 ・ 6月6日(日)10:00～16:30

テ ー マ 「未定」(平成16年度環境月間統一テーマ)

会 場 ハノーバー庭園(広島市中区基町)ほか

参 加 費 無料

参加者数 15,000人(見込)

内 容

日 程	会 場 (ハノーバー庭園ほか)
6月5日 (土)	10:00～14:00 環境活動展示
	14:00～17:00 「環境の日」ひろしま大会式典 新エネルギー展
	14:00～17:00 フリーマーケット
6月6日 (日)	10:00～16:30 環境活動展示 新エネルギー展 フリーマーケット 人形劇・紙芝居(場所:広島県立広島環境センター) 時間:10:00～12:00

主 催 「環境の日」ひろしま大会実行委員会 広島県、広島市、広島県環境教育センター、広島県環境センター
共 催 広島市子ども文化科学館、環境にやさしいひろしま県民会議
後 援 環境省(予定)

(順不同)

名 称	名 称
広島県生活協同組合連合会	家庭電器協議会中国支部
(株)広島消費者協会	日本自動車用品協会中国支部
広島市消費者協議会	中国百貨店協会
広島市消費者協会	日本チェーンストア協会中国支部
広島市消費者協会	広島県スーパーマーケット協会
広島県建設業協会	(株)広島県タクシー協会
広島県中小企業団体中央会	(株)広島県輸入タクシー協会
(株)広島県バス協会	(株)広島県トラック協会
(株)広島県観光協会	(株)広島県タクシー協会
広島県PTA連合会	(株)中国新聞社
広島県高等学校PTA連合会	日本放送協会広島放送局
広島県PTA協議会	(株)中国放送
日本労働組合総連合会広島県連合会	広島テレビ放送(株)
広島県建設労働組合	(株)広島ホームテレビ
広島県商工会議所連合会	(株)テレビ新広島
広島県商工会連合会	広島エアム放送(株)
広島県中小企業団体中央会	(株)東広島FM(株)中国支部
広島県経営者協会	(株)広島地球環境情報センター
(株)広島県年金協会の	中国経済産業局
ひろしま地球環境フォーラム	中国運輸局
広島県商協同組合中央会	中国地方警備隊
広島県商協同組合連合会	広島県知事官舎
広島県商協同組合連合会	広島県庁舎
(株)広島県商業実業協会	広島県庁舎
(株)広島県環境保全公社	広島県
広島県石炭協同組合	広島県教育委員会
(株)広島県PTA協議会	広島県警察本部
広島県建設労働組合	広島県建設労働組合

事例 -3-7-3 低公害車メールマガジンの配信

【場 所】 全国

【主 体】 国土交通本省、地方運輸局

【目 的】 低公害車に関する知識を広め、「低公害車＝高い、使い勝手が悪い、車種が少ない」といった先入観を解消するため、低公害車関係の知識、情報を発信する

【内 容】

「低公害車メールマガジン」の会員登録（団体、企業、個人による登録）をされた方に、直接送付（毎月1回発行）する。（登録・購読無料）

- ・新たに低公害車に認定された車種の紹介
- ・低公害車普及の必要性
- ・低公害車導入への支援措置や燃費改善効果
- ・会員の方から送られてきたイベント情報の紹介

中国運輸局管内の「低公害車メールマガジン」会員登録数
（平成16年8月5日現在） 194会員

国土交通省

低公害車 メールマガジン

自動車って環境に悪いのかな？
でも、やっぱり自動車がよいと知るよね。

地球温暖化防止のためには、自動車からのCO₂排出削減を図ることが不可欠です。また、自動車から排出されるNO_x・PMをはじめとする大気汚染物質が深刻な問題となっています。

これらの問題の解決を図るためには、燃費が高く排出ガスが少ない低公害車の普及促進を図ることが必要ですが、そのためには低公害車に関する知識を広め、「低公害車＝高い、使い勝手が悪い、車種が少ない」といった先入観を解消することが必要です。

そこで国土交通省では、自治体、企業等において、自動車を購入する際に対応していただくよう、メールマガジンを発行し、低公害車関係の知識、情報を発信しています。

会員登録はこちらから
<http://teikougaisha.mlit.go.jp/>
○登録・購読は無料です。
○毎月1回発行しています。
○団体・企業をはじめ、個人の方でもご登録いただけます。

低公害車って何？ どんな車があるの？

低公害車とは、低燃費・低CO₂排出・低NO_x・低PM排出の車を指します。また、低公害車には、低燃費・低CO₂排出・低NO_x・低PM排出の車を指します。また、低公害車には、低燃費・低CO₂排出・低NO_x・低PM排出の車を指します。

低公害車に乗っていると何かいいことがあるの？

低公害車は燃費が良く、CO₂排出量が少なく、環境に優しいです。また、低公害車には、低燃費・低CO₂排出・低NO_x・低PM排出の車を指します。また、低公害車には、低燃費・低CO₂排出・低NO_x・低PM排出の車を指します。

低公害車のことをもっと知りたいたい。

低公害車に関する最新の情報は、低公害車メールマガジンで毎月お届けしています。また、低公害車に関するイベント情報も、低公害車メールマガジンで毎月お届けしています。

事例 -3-7-4 グリーン経営認証制度

【場 所】 全国

【主 体】 交通エコロジー・モビリティ財団、

【目 的】 交通事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取組意欲の向上を図り、環境負荷の低減を図る

【内 容】

国土交通省、(社)全日本トラック協会等の協力及び日本財団からの助成により、交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となって創設された制度で、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定のレベル以上の環境保全活動の取り組みを行っている事業者の事業場に対して、審査の上、認証・登録を行う。

- ・トラック事業者の認証制度：平成15年10月開始
- ・バス、タクシー事業者の認証制度：平成16年4月開始

中国運輸局管内の認証事業者数（平成16年8月5日現在）

トラック事業者： 17事業者、21事業所

タクシー事業者： 3事業者、5事業所



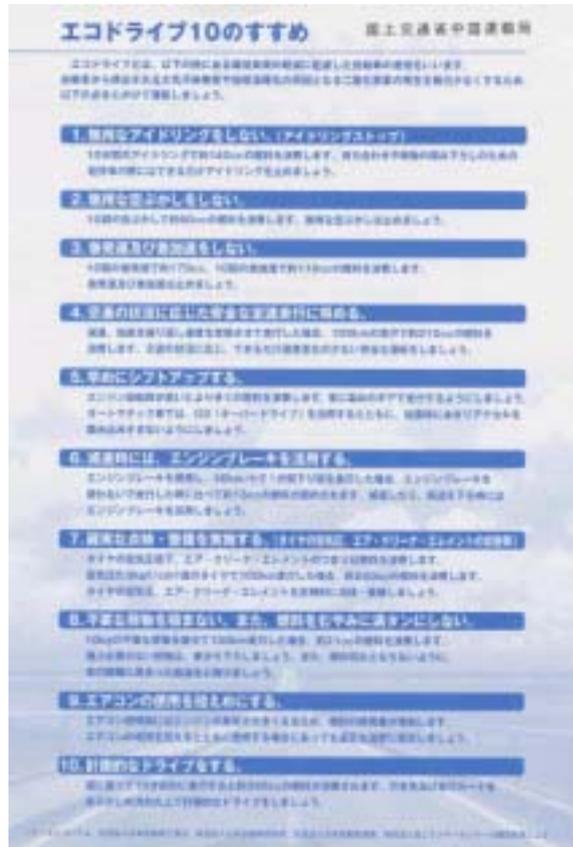
平成15年11月25日「グリーン経営普及講習会」

事例 -3-7-5 エコドライブの普及

- 【場 所】 全国
- 【主 体】 警察、経済産業省、国土交通省、環境省
- 【目 的】 自動車から排出される大気汚染物質や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を極力少なくするため、環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用を促進する

【内 容】

環境負荷の軽減を図るための施策として、環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用（エコドライブ）の普及促進が重要となっており、上記4省庁では、自動車の運転者等を対象にエコドライブの実施をアピールするためパンフレット、ステッカーを作成し配布した。ステッカー裏面には「エコドライブ10のすすめ」として、10項目の環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用項目を掲げ、一人一人のドライバーの努力を呼びかけている。



事例 -3-7-6

モーダルシフト推進のための荷主側の工夫とノウハウや支援措置の荷主 等への周知

- 【場 所】 中国運輸局管内
- 【主 体】 中国モーダルシフト推進協議会
- 【目 的】 モーダルシフトの推進
- 【内 容】

平成14年からモーダルシフトを積極的に推進した優良荷主における荷主側の工夫した点やリードタイムの状況を取りまとめた。

モーダルシフト実施において工夫・調整した点

(平成14・15年度 優良荷主表彰事業場)

1. 生産調整・出荷調整

- ・納品に対するリードタイムの整理実施。(納期優先：トラック、安定供給(補充)優先：鉄道)
- ・鉄道輸送に適応した出荷数量(5t、10t、20t)の調整が必要となった。
- ・JR 貨物のダイヤの関係で午後納入となり、営業倉庫配送作業に影響があるため、翌日午後納入とした。
- ・トラックに比べてリードタイムが長くなりデリバリー対応でマイナス要素があったが、営業倉庫の在庫管理強化と多品目積み合わせオーダー管理を充実させることで営業要望をクリアした。
- ・海上輸送の場合、出航日数が限られるほか、リードタイムが長くなるため、生産調整により対応した。
- ・「フル生産、フル販売体制」により在庫を抱えない分、出荷と納期に大きく影響を与えていたが、日々輸送可能なJRコンテナにシフトすることによりコストを含めて計画的に解決した。
- ・平板紙の糊付け輸送の開始。
- ・製品供給に関して納期を調整(取引先へ訪問・説明)した。

2. 事業者との調整

- ・トラック事業者との取引関係を調整した。
- ・顧客に対しトラックに劣らないサービスの提供を保証した。
- ・製品供給に関して納期を調整(取引先へ訪問・説明)した。(再掲)

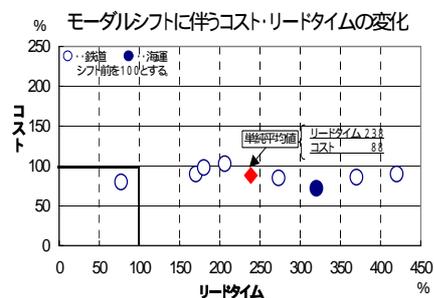
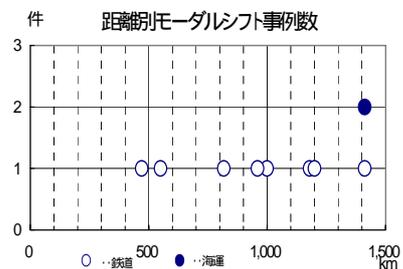
3. 品質確保のための工夫

- ・輸送品質安定化のため、一部素材で特種パレット(1.2×1.4)を1.4型へ切替えて、一貫バレを実現した。
- ・荷役機械の操作や輸送管理(製品の損傷防止、衛生管理)を工夫した。

4. シフトに係る設備関係

- ・専用線増強工事の実施(専用線の延長・線形改良工事)。
- ・JRコンテナ積み込みのため発貨物駅近くに保管倉庫を構え、事前作業・業務の効率化を図った。

モーダルシフト優良荷主の 平成14・15年度の事例について (8社9事例)



事例 -3-7-7 モーダルシフト促進キャンペーン

【主 体】 国土交通省モーダルシフト等促進協議会
中国モーダルシフト推進協議会

【目 的】 モーダルシフト推進

【内 容】

我が国では地球温暖化対策が喫緊の課題であり、物流部門においても貨物輸送の手段を海運・鉄道利用に転換するモーダルシフトやトラック輸送の効率化等により、輸送にかかる環境負荷を小さくすることが求められており、物流業界だけでなく荷主企業や一般消費者も含めた社会全体の取り組みとしてモーダルシフト促進キャンペーンを行うものである。

併せて、中国地区ではJR貨物を利用した引越しのPRを作成した。



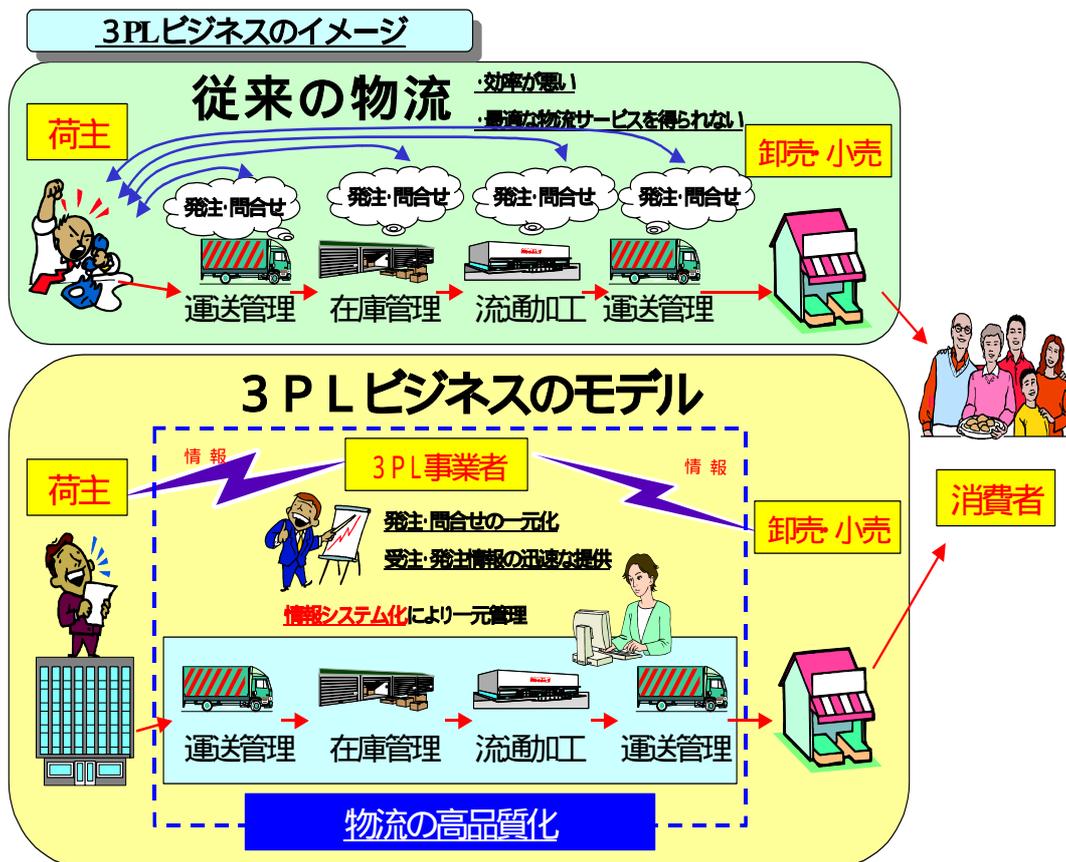
事例 -3-7-8 3PLの育成支援

【主 体】 国土交通省

【目 的】 3PLによるコスト削減、環境負荷の軽減、経済の活性化支援

【内 容】

1990年代米国で登場した3PLは、荷主から物流を一貫して請負う高品質の物流サービスであり、荷主企業の本業への経営資源集中や物流部門における規制緩和等を背景に高い成長を続けている。我が国においても、今後、3PLの高い成長が期待されるが、その実現のためには、中小物流業等における人材の育成が求められている。



【主 体】 中国モーダルシフト推進協議会

【目 的】 モーダルシフト優良荷主表彰制度

【内 容】

貨物運送における鉄道又は海運の利用促進が、輸送の効率化、環境負荷の低減等に資することから、モーダルシフトを積極的に推進した荷主事業場を表彰することにより、モーダルシフトの推進を図るもの。

モーダルシフト優良荷主の概要

平成14年度

	A社	B社	C社
1.表彰荷主	山口県宇部市	広島県大竹市	鳥取県米子市
2.シフト先 輸送モード	鉄 道	鉄 道	鉄 道
3.取扱貨物	デジタル印刷機用 消耗品	純白ロール紙 他	高級白板紙 他
4.評価対象比率 対前年増加率(ポイント)	(長距離) 31.4%	(長距離) 16.8%	(中距離) 5.8%
(今年度値) (前年度値)	(0% - 31.4%)	(46.8% - 30.0%)	(24.9% - 19.1%)
5.評価対象 輸送量増加量	450トン	2,048トン	1,167トン



第5回中国モーダルシフト推進協議会での表彰式

平成15年度

	D社	E社		F社	G社	H社	
1.表彰荷主	山口県岩国市	山口県周南市		岡山県和気郡日生町	山口県岩国市	山口県周南市	
2.シフト先 輸送モード	鉄 道・海 運	鉄 道・海 運		鉄 道・海 運	鉄 道	鉄 道	
3.取扱貨物	紙	合成ゴム、合成ラテックス		耐火レンガ	化成品 エンジニアングプラスチック、P(イロン)他	イソシアネート (ポリウレタン基礎原料)	
4.評価対象比率 対前年増加率(ポイント)	(長距離) 17.4%	(長距離) 5.0%	(中距離) 27.5%	(長距離) 33.5%	(長距離) 26.9%	(長距離) 3.2%	(中距離) 4.0%
(今年度値) (前年度値)	(92.0% - 74.6%)	(23.8% - 18.8%)	(28.1% - 0.6%)	(41.7% - 8.2%)	(26.9% - 0%)	(26.2% - 23.0%)	(9.8% - 5.8%)
5.評価対象 輸送量増加量	19,500トン	4,322トン	1,525トン	741トン	420トン	500トン	243トン

…表彰基準クリア

事例 -3-7-10 交通需要マネジメント等実証実験

【場 所】 山口県山口市

【主 体】 山口市（防長交通（株）に運行委託）

【目 的】 コミュニティバスによるマイカーから公共交通への利用転換実証実験

【内 容】

山口市が防長交通（株）に運行を委託して、平成13年10月から実施。

- ・ 山口市内に3ルートを設定して、小型巡回バスを運行
- ・ 低運賃（1乗車100円）の、わかりやすく利用しやすい運賃を設定
- ・ 定時運行確保のため、PTPSの導入、交差点の改良や道路拡幅の実施

1便当たりの平均乗車人員数が目標を上回り、当該実証実験終了（平成15年9月）後も、運行システムの改善を図りつつ運行が継続されている。



【場 所】 山口県下関市

【主 体】 サンデン交通（株）、（株）下関大丸が協力

【目 的】 マイカーから公共交通への利用転換を促進してCO₂削減による環境負荷を軽減する

【内 容】

サンデン交通（株）及び（株）下関大丸がタイアップして行う実証実験で、平成15年7月から実施。

- ・サンデン交通（株）は、昼限定（9時～16時）の割引バスカードを発売。
- ・（株）下関大丸は、このバスカードを利用して来店したお客様に対して購入額に応じてバスカードを提供。

マイカーから公共交通への利用転換を促進してCO₂削減による環境負荷を軽減するとともに、中心市街地への新たな買い物客を呼び込み、中心市街地の活性化に寄与するものと期待されている。

15年度においては、実証実験開始前と比べ、6.4%の増客効果があった。（実験開始前月、実験開始後4ヶ月目、6ヶ月目、8ヶ月目の各月の2日間（曜日、時間帯は同じ）をサンプル調査）



事例 -3-7-12 環境定期券

【場 所】 広島県・岡山県・山口県

【主 体】 バス事業者

【目 的】 自家用自動車からバスへの利用転換を促進し環境の改善を図る

【内 容】

広島県等のバス事業者27社では、休日等のバス利用について割引運賃を導入し、買い物、行楽等の自家用自動車利用者をバスに誘導することにより、自家用車の走行を減らし、CO₂等の抑制により地球温暖化等の改善を図っている。

対 象：通勤定期所持者とその同居の家族

運 賃：大人1乗車100円、小人50円

（所持人は定期区間以外100円）

適用日：土曜、日曜、祝休日、お盆期間、年末年始

適用便：一部高速バス等を除く全路線



21世紀初頭における中国地方の
公共交通サービスと観光振興のあり方について
(答申)

中国地方交通審議会
事務局 :中国運輸局企画振興部企画課

広島県広島市中区上八丁堀 6番 30号
広島合同庁舎 4号館
TEL 082 - 228 - 8701
FAX 082 - 228 - 9412